

- 2…会長あいさつ
- 5…事業・会計
- 目 6…70周年記念文化祭
- 7…各科だより
- 11…平成4年卒業生進路
- 次 19…会員だより
- 21…70周年基金一覧
- 23…会費・寄附一覧

白水会報

発行所
 大阪市立泉尾工業高等学校内
 大阪白水会
 〒551
 大阪市大正区泉尾5-16-7
 TEL 大阪 552-2221代
 FAX 554-7612
 振替 大阪 4-82966
 発行人 檜尾俊明
 編集責任者 高野 國博

母校創立70周年記念式典・祝賀会



七〇の齡重ねた喜びを
 厳肅に整然と

母校七十周年記念式典が昨年十月二十四日、多くの来賓と共に、われわれ白水会員も参加して挙行されました。式典後に記念音楽会が催され、大阪市消防音楽隊による「アトム・プラスパンド」「日本の詩情」「国民の象徴」そして「母校校歌」演奏を在校生とともに楽しむことができました。また、教育後援会、PTAの皆さんと記念祝賀会を計画、多くの参加者を得て、楽しく盛大な会になりました。これ皆会員諸氏のご協力の賜と感謝し、お礼申し上げます。



七十周年行事への協力感謝

会 長 檜 尾 俣 明 (S32)



明治維新の門戸開放と共に、流入した西洋文化、とりわけ工業力に驚嘆した我が国先人達は「工業力は國家なり」とした。模倣に始った我國の工業力は、今や様々な

分野で世界のトップリーダーとしての力を持つようになり、母校「泉尾工業高等学校」もこの工業改革の激流にもまれて七十年が過ぎました。

昨年の母校七十周年記念行事に当りとりわけ記念祝賀会では、会員諸氏の協力はもちろんのこと、PTA、教育後援会、泉会等々の御協力を賜り、大盛会の内に閉会

できました事を心より御礼申し上げます。

げます。また学校をはじめ諸先生におかれましては、各記念行事のシステム作りから、実地まで一貫して御参加下さいまして、誠に有難うございました。

この母校の七十周年という大きな節目に、白水会会長として微力ながら記念行事に参加できたという事は、私にとつて身に余る光栄であると同時に、人生に於る大きな句読点として意義深い思いが致します。

会長在任中は、白水会ゴルフ大会を呼び掛けて下さいましたOB先生、またご多忙にもかかわらず実行委員会及び理事会に、常に御

出席下さいまして、貴重なご意見を下さいました先輩諸氏、様々な行事に万障繰合せご参加下さいました会員各位、教え上げればきりがありませんが皆様の本心に温かなご指導、ご協力の賜として感謝致しております。

早いもので着任して2年の月日が流れました。もう一期続けるよりとの、お声もありましたが仕事も忙しくなり大変な時代となりました。仕事と両立させて、その為の方一皆様に迷惑をお掛けしては申し訳が立ちません。今期をもちまして白水会会長を退任致したく、理事会に申し上げましたと

敬意と感謝を捧げたいと存じます。

ころ、ご承認賜りました。次期会長は、昭和二十年色染工業科卒業の「北島 豊氏」と決まりました。北島氏は北島染工の経営に当られ、幾多の会の役員を兼務され広い視野、深い洞察力をお持ちの温厚篤実な方で、白水会会長として、またとない人材と確信して皆様にご紹介申し上げます。

尚七十周年記念行事の一環として、教育基金制度の設立が決定されています。北島新会長の下、大いなる一步を踏みだそうではありませんか、皆様のご協力をお願いしてご挨拶と致します。

生徒達の頑張りの中から顕著なものをご紹介しますと、一つはライセンス取得状況が極めて優秀であることです。平成四年度の統計をみますと全市立工業高校生(全日制)が取得した延ライセンス数の35%を本校生で占めました。これは本校教育の成果であり、生徒の頑張りや教職員のご指導の賜物と考えます。このライセンス取得指導は本校教育の特徴の一つであり、ますので今後共一層の推進を図って行きたく思っております。

社会の進展に

対応する教育をめざして

学校長 濱 中 富 三



誠にありがとうございます。

特に、昨年は母校創立七〇周年記念に際しまして、同窓会の組織を挙げ、物心両面に亘ってご援助を賜り、大成功裡に関連諸事業を完遂することができました。ここに厚く感謝申し上げます。

なかでも、地域はもちろんのことと全市的にも有名になっております本校の伝統的体育祭を一層盛り上げてやろうとの思いで、生徒

応援用パイプスタンドを巨費を投じてご寄贈頂いたこと、檜尾会長が提唱し強力で推進して頂いた「進展の著しい国際社会と我が国の将来を展望し、それらに対応する教育を受けている母校の在学を支援する教育基金構想」が緒に

ついたこと、芸術院会員、村上三島氏(A6卒)が母校創立七〇周年記念のため、極めて多忙な中を、氏のオリジナリテイの名言「衣襟懐宝」を揮毫して頂いたこと、それを松田利三氏(D7卒)

が日本手拭に架めて頂き、またとない記念品にして頂いたことなど、多くの同窓の方々の大きなお力添えを賜ったことに、深甚なる

敬意と感謝を捧げたいと存じます。

お陰をもちまして、これら一連の諸事業の完遂を通じまして、本校の存在価値を高らかに内外に宣言することができました。しかしながら、名門、泉工の真価はまさにこれから問われるものと考えます。我々教職員は変化の激しい社会に対応し得る工業人の育成に邁進し、先人の築かれた輝かしい業跡の上に、新たな教育の成果を累積することを誓っております。また、生徒達も一層自信を深め「泉尾工業高等学校」と問われたら「ハイッ私ですッ」と胸を張れるように努力をいたします。そんな

生徒達の頑張りの中から顕著なものをご紹介しますと、一つはライセンス取得状況が極めて優秀であることです。平成四年度の統計をみますと全市立工業高校生(全日制)が取得した延ライセンス数の35%を本校生で占めました。これは本校教育の成果であり、生徒の頑張りや教職員のご指導の賜物と考えます。このライセンス取得指導は本校教育の特徴の一つであり、ますので今後共一層の推進を図って行きたく思っております。

二つには、3D吉田美希さんが工業高校生技術交流生としてマレーシアに派遣されることです。これは毎年大阪市が実施している

大阪白水会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととおよろこび申し上げます。

平素は何かと母校の工業教育の発展に一方ならぬご支援を頂き、

事業ですが、吉田さんには、技術交流を通じて、異文化の相互理解と国境を超えた友情を培うことなどが求められています。本校生による高校生外交が大きな成果となることを期待したいと思えます。

さて、本校はこの四月から「ファッション工学科」を設置し、新しい教育課程で、社会の進展とニ

ーズに対応する教育 めていま これは、繊維工業や色染工業等の繊維産業は、かつて素材としての布や糸（テキスタイル）を製造する産業と考えられて来ましたが、現在では、テキスタイルからその二次製品である服飾品（アパレル）やカーテン・カーペットな

どインテリアまでを含む幅広い産業となり、ファッション産業と呼ばれるようになっていきます。このような時代の変化に対応するため、服飾品（アパレル）やインテリアに関するデザイン及び製造技術など、広くファッション産業全体を視野に入れた学習をめざしていきます。

このよう（ ）なされたファッション工学科を含め、七学科（繊維工業科、色染工業科は平成七年度末に廃科）、生徒総数九百八十五名、教職員百六名で平成五年度を無事にスタートしております。今、社会は著しく変化しており、科学技術の進歩は止まるところを知りません。本校におきま

着任のご挨拶

教 頭 村 尾 勝 継



太陽の光が燦爛とふりをそぐ季節となりましたが、白水会員の皆様には、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

本校は、大正十一年大阪市立泉尾工業学校として創立されて以来昨年七〇周年という輝かしい歴史と伝統を誇る大阪市を代表する学校であります。そのような学校の教頭を拝命いたしましたことは大

「自から学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図る」ことが挙げられています。興味関心、分析・総合・直観・推理等の思考力、判断力、観察力、表現力、選択力等の育成がより一層に重視されることとなります。

また、中央教育審議会や大阪府高等学校教育審議会の答申等においては、これからの高等学校教育の基本的方向として社会人としての基礎・基本を身につけさせること、生徒一人ひとりの興味・関心に基づく主体的な学習を促すこと、個性を最大限に伸ばさせること、生涯にわたって継続的に学習する意欲や態度を育成すること等を提言しています。

今後とも皆様のお力添えを賜りますように、よろしくご挨拶申し上げます。最後にありがとうございました。最後までご健勝とご活躍を祈念いたしましてご挨拶いたします。

平素は、本校教育の充実発展のため暖かいご理解とご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

国際化、情報化、高度技術化等の急速な進展にともない産業構造や就業構造が大きく変革されることになり、人々の生活様式や新しい文化の創造が進むことにより社会はより豊かな発展を続けております。

工業高校においても工業の基礎的・基本的教育内容を基盤とする学科、すなわち、より充実した普通科教育と基礎・基本を中心とした専門科教育を兼ねそなえたバラ

でも、このような社会の進展に対応する教育を、施設、設備の改善、充実を図りながら着実に進めて参りたいと思っております。最後になりましたが大阪白水会々員の皆様方の一層のご健勝を祈念すると共に、本校の工業教育推進にさらなるご支援をお願い申し上げます。

今後とも皆様のお力添えを賜りますように、よろしくご挨拶申し上げます。最後にありがとうございました。最後までご健勝とご活躍を祈念いたしましてご挨拶いたします。

さて、このたびは田中孝治教頭先生の後任として本校教頭を拝命し、四月五日付にて着任いたしました。

このような社会の変化に対して学校教育のあり方も各方面で論じられております。平成六年度から

工業高校においても工業の基礎的・基本的教育内容を基盤とする学科、すなわち、より充実した普通科教育と基礎・基本を中心とした専門科教育を兼ねそなえたバラ

成長して、一万五千名を超える素晴らしい先輩達に続くように、より一層一段と生徒の将来を展望したきめ細かな指導ができるように連絡調整役を果たしたいと存じま

建築工事業

益田建設株式会社

代表取締役 益田 治 (C37卒)

〒554 大阪市此花区梅香2丁目2番17号

TEL (06) 461-5212

「転任のご挨拶」



前教頭 田中 孝 治

平成五年四月五日付の人事異動で、大阪市立工業高等学校に転動しました。本校には、昭和六十三年に生野工から転入して、満五年間になりましたが、その間第一〇代校長前田昌男先生、第十一代現校長濱中富三先生にご指導いただきました。もとより力量不足は自ら承知しているもの、お二人の校長をはじめ諸先生方や白水会の諸先輩には、公私にわたり、ご指導、ご支援を賜り誠にありがとうございました。転任して、はは一ヶ月になりますが、数々の白水会のご尽力の一端を紹介させていただきます。転任の挨拶にかえさせていただきます。

泉尾工の歴史と伝統の重きを、私の教育活動のあらゆる場で経験することができ、誠に身の引き締まる思いで五年が過ぎていったように気がいたします。七十周年事業に向けて、大阪白水会の会長をはじめ多数の会員諸氏のお世話になりました。創立七十周年記念事業を推進していく過程で、様々なご助言、ご支援をいただきました。その上、巨額を投じて母校在校生全てに還元できるパイプスタントをご寄贈いただき、平成四年度の七十周年記念体育祭では全校生徒・教職員が一丸となって、応援席を組み上げ、全員で体育祭をつくり上げる大きな教育成果をあげました。さらにスタンドに掲げる背景や応援は、例年をはるかにうわまわる盛り上がりを見せ盛大に挙行できました。寄贈のスタンドは後輩の手で活かされ、教育活動の大切な教材として生と続けていくものと確信しております。母校の歴史の節目に白水会、教育後援会、PTAのご支援、ご協力をいただき七十周年記念の諸行事が無事終えることができ改めて、お礼を申し上げます。母校では、時代の変化に対応すべく、将来展望のコンセプトづくりにはじまって、学科の改編・新設を検討してきます。平成五

年度から繊維工業科と色染工業科が各々の特色を活かして、ファッション工学科に改編されたことは、ご承知のことと思います。母校では、新設学科の紹介のため中学校訪問や様々な機会を捉え、PRに努めております。泉尾工業高校の益々の活性化、特色化の趣旨にご賛同の上、ご支援、ご協力をお願いして、つたない五年間でしたが、七十周年記念事業の継承と益々白水会の発展をお祈りして、離任の挨拶とします。

母 校 短 信

タイ国工科大学長来訪

本年2月17日、タイ国ラジャマングェラ工科大学の学長夫妻一行が、日本の繊維工業用薬剤製造事業を視察に来日された折に、泉尾工高の繊維工業科、色染工業科を来訪。この後、電気科、工業化学科を見学された。

各科の実習設備や実習内容に深い関心を示し、種々質問されていた。

尚、当日は岡田孝太郎氏（D32）が、通訳兼世話係として大変お世話下さいました。

セーター・ブラウス用
トーション・レース及ブレード
企画製造
カツミ産業
堺市石原町4-398 ☎0722 (59) 8011
梶 尾 俊 明 (S32卒)

機械部品設計・製作・組立
(NC旋盤、NCフライス、マシニングセンター)
シマ精機 有限会社
代表取締役 志磨村和雄 (M40卒)
〒663 西宮市上田西町3番27号
TEL (0798) 46-0686
FAX (0798) 41-3669

株式会社 大勝水産 有限会社 タカツキ
本店 〒553 大阪市福島区玉川1丁目1番4号 営業所 〒559 高槻市船屋町2-1
TEL (06) 443-6606~7 松原区高槻店 松原区高槻店
FAX (06) 445-7848 TEL (0726) 85-5019 (直通) (0726) 82-1111 (内線315)
小売部 奈良店 有限会社 大勝直売
営業所 〒631 奈良市西大寺東町2-4-1 営業所 〒573 大阪府枚方市樟葉花園町15番5号
近鉄百貨店店隣 松原区くさば店隣
TEL (0742) 36-0787 (直通) TEL (0720) 51-2276 (直通)
(0742) 33-1111 (内線3741) (0720) 51-1111 (内線526)
専務取締役 田中 豊 三 (S38卒)

“金属イオン or サビを考えると”
●キレート剤 EDTA, HEDTA, DTPA, TTHA, NTA.
●防錆剤・防錆添加剤 気化性、水溶性、油溶性。
営業部長 唐津麻 修 (A41)
代表取締役社長 南 部 忠彦 (M39)
キレスト株式会社
CHELEST CORPORATION
本 社 TEL (06) 344-6451 東京支店 TEL (03) 3664-6044

平成5年度役員

会長 北嶋 豊 (D 20)
副会長 高橋誠一郎 (S 15)

小川 治 (D 30)
上中律三郎 (C 26)

市山 輝夫 (A 30)
上野 勇 (M 26)

河端 保 (E 41)
田中 豊三 (S 38)

山畑阿威磨 (A 33)

顧問
澤谷 章 (初代会長 A 大13)
木内忠五郎 (第5代会長 D 3)

鎌田 修一 (第8代会長 D 13)
横山 幸男 (第10代会長 A 17)

上野 勇 (第11代会長 M 26)
榎尾俊 明 (第12代会長 S 32)

東京支部長 大道邦雄 (A 18 12)
常任理事長 高野 國博 (A 33)

平成4年度事業報告
総会の開催 平成4年7月17日
大成閣

東京支部総会 平成4年7月3日
九段会館

会報発行 平成4年7月1日
母校後援事業 卒業生を囲む会

(6月19日を中心に各科で)
教育後援会を通じて財政援助

(10万円/年)
母校70周年事業の後援

パイプスタンドの購入
学校祭への援助

記念誌の発行・祝賀会の開催
会議 役員・理事会 6月12日

常任理事会何 開催

平成5年度事業計画

総会 10月8日(金)「大成閣」
東京支部総会

7月6日(火)「九段会館」
会報の発行 9月10日(予定)

母校後援事業
卒業生を囲む会

平成5年6月18日より26日まで
教育後援会を通じた財政援助

年間 10万円
諸会議

役員会・理事会 7月2日
常任理事会 随時

常任理事長交替について
辻村元理事長の後を受け長らく

常任理事長の職にありました六辻
丈夫理事長は今年度新設されまし

たフッシャーン工学科の科長とし
て科の方向づけ(実習内容、将来

展望等)に伴う実習室や実習装置
等について日夜奮闘されておられ

ます。
そこで5月に行われました常任

理事会の席上交替を申し出られた話
合いの結果、私がお引受けするこ

とになりました。六辻理事長のよ
うにはとても及ばないとは思いま

すができるだけ努力して白水会の
発展にまい進致したいと思ってお

ります。
どうかよろしくご指導、ご鞭撻

下さいますよう、お願い申し上げ
ます。
高野國博

平成4年度 大阪白水会 決算報告
一般会計

平成5年4月30日現在

収入総額 3,274,503円
支出総額 3,274,503円

差引額 0円

収入の部

項目	予算額	決算額
会費	1,450,000	975,000
予納金	900,000	868,000
雑収入	400,000	265,241
積立金会計より	850,000	850,000
70周年記念募金会計より	0	316,262
合計	3,600,000	3,274,503

支出の部

項目	予算額	決算額
会報作成費	2,200,000	2,067,815
總會費	400,000	356,925
新入会員歓迎費	200,000	178,447
退職記念品料	140,000	133,000
会議費	200,000	148,998
教育後援会分担金	100,000	100,000
出張費	160,000	137,048
事務・通信費	100,000	94,847
雑費	100,000	57,423
合計	3,600,000	3,274,503

積立金会計

平成5年4月30日現在

《決算報告》
収入総額 6,789,304円
支出総額 1,036,224円
差引額 5,753,080円…次年度へ繰越

収入の部

項目	金額
前年度繰越金	6,410,641円
預金利息	378,663
合計	6,789,304円

支出の部

項目	金額
一般会計への補助	850,000円
名簿訂正版発送費	136,224
世界大会出場激励金	50,000
合計	1,036,224

監査の結果 正確であることを認めます
平成5年4月30日
会計監査 山畑阿威磨
田中豊三

《積立金会計》

収入総額 5,853,080円
支出総額 700,000円
差引額 5,153,080円

収入の部

項目	金額
前年度繰越金	5,753,080円
預金利息	100,000
合計	5,853,080

支出の部

項目	金額
一般会計への補助	700,000
合計	700,000

平成5年度 大阪白水会 予算案

《一般会計》

収入総額 3,420,000円
支出総額 3,420,000円

差引額 0円

収入の部

項目	予算額
会費	1,420,000円
予納金	900,000
雑収入	400,000
前年度繰越金	0
積立金会計より	700,000
合計	3,420,000円

支出の部

項目	予算額
会報作成費	2,100,000円
總會費	400,000
新入会員歓迎費	190,000
退職記念品料	120,000
会議費	180,000
教育後援会分担金	100,000
出張費	150,000
事務・通信費	100,000
雑費	80,000
合計	3,420,000円

創立七〇周年記念

『燃える文化祭七〇周年』

泉尾工業高校生徒会

創立70周年を迎え、私たちはここから、新しい伝統を造ってという張りきっています。

今日はクラスやクラブの仲間達と頑張ってきた成果を披露いたします。

一生懸命取り組んできた、展示・ステージ・模擬店など、御来場の皆様にご覧いただき、楽しんで

いただきたいと思えます。

右の文章が、テーマを「燃える文化祭70周年」と決め昨年行なわれた、母校70周年記念文化祭の際の後輩達の言葉です。

体育祭は雨天で予定通り開催できませんでした。昨年度の文化祭に、頭に創立70周年周年と冠を付けた文化祭で、好天に恵まれた楽しく盛大な文化祭でした。

会員諸氏による周年記念事業支援のための募金が、学校祭費用にも充当されました。その結果、充実した実習紹介、科紹介になり、他のクラス・クラブ展示や演技にも影響をあたえ、泉尾工高ここにもありと、後輩達は自信を持ち胸を張って、学校のアピールを行なっている様子がうかがえました。

泉工高固有の文化祭が、伝統を守り、なおかつ発展し、次世代へと継承されていくのを見るのは、うれしく、楽しいものです。

なお、本年度の文化祭は、11月7日(日)に計画されています、同窓の方々と共に、一度母校をたずねて、卒業後の母校の様子や後輩達の頑張っている姿をみてみませんか。



正門前



実習展示



クラス展示



ステージ



野外ステージ



バザー

ファッション工学科だより

本年4月1日より、母校にファッション工学科が充足いたしました。

数年前より、母校において「泉屋工高の特色化、活性化をはかる」論議がなされてまいりました。その過程におきまして、繊維工業科、色染工業科のより一層の発展は何かという協議の中から、両科が協同して新しい学科を創り出そうということになりました。

繊維産業の物理的処理の側面を繊維工業科が、化学的処理の側面を色染工業科が分担するという創立以来の区分は、現在の我が国の繊維産業界においては、ほとんど意味をなさなくなつてきていると思われまふ。

一億二千万人の我が国の消費者の高感度のニーズに対応できる産業として、ファッション産業の道を進もうとしている繊維産業に視点を置いた学科の設置こそ、ふさわしいものであると考えました。ファッション工学科におきましては、従来のSDの枠を取りはらい、一年生でファッション産業の概説をはじめデザイン、情報技術の基礎を学習し、テキストイル（織り物・ニット）・アパレル・インテリア・デザイン・色彩・カラ

ーリング（採染）・化学の八つのコースの実習を行います。

二年生より、ファッションクリエイトコースとカラーリングに重点を置いてテキストイル・アパレル・インテリアに重点を置き、後者は色彩科学やカラーリングに重点を置いた内容になりますが、共通学習もしっかりと行います。

また、実習で要素ごとの実習を極力おさえて、何日かをかけて何らかのモノ（作品）を創り出すことを通じて、モノ作りの楽しさと

繊維工業科だより

昨年度は創立七十周年記念行事を卒業生の皆様のご支援により盛大に行うことができ、有難うございました。八十周年に向けて、職員一同、心新たにスタートいたしましたので、より一層のご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願ひします。今春の卒業生もまた別頁に記載している進路先へと果立、グリーンクラブの会員となりました。先輩方のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひします。

繊維工業科は、前回にも記載し

主体的な学習力をつけようと考えております。

尚、ファッション工学科では、関連業界の第一線で活躍されている方による特別講義や指導の機会を多めかつ数多く設けることにしております。ご支援いただいた方の名簿づくりをすすめております。

卒業生のみなさまのご支援を、心より願っております。

最後にりましたが、実習室の大巾な改造と実習機器の導入が済んでおり、日ならずして日本一の施設・設備が整うことになりま

ましたように、紡織科をへて現在にいたっておりますが、授業内容も時代に対応すべく、改善してまいりました。つまり、繊維技術（織物・ニット）、デザイン（染色・捺染・テキスタイルデザイン）、情報技術（コンピュータソフトとハード）三本柱にして展開してまいりました。そして、次世代に対応すべく、これらを基礎にして、色染工業科とともに、ファッション工学科として新発足することになりました。

特に、アパレル・インテリア・

コンピュータ）ファイックデザインなどを新たに加え、製品展開中心の授業内容を考えております。

これらは産業界の流れに即したもので、紡織・繊維工業は、一時代に終止符を打つこととなりますが、先輩方が社会に出られて活躍され、産業界の構造改革されたものを反映したものです。また、

これからの人材育成は、ただ単なる技術者ではなく、人間性豊かな、デザイン感性の優れた技術者を特に要求されており、数年前から転換してきた結果、より広い視野に立った新科発足となりました。

色染工業科だより

○色染工業科の生徒が三学年とも在学することは、今春をもちまして終りとなりました。戦争末期に、平和産業であるが故に一時廃科されたとは申せ、創立以来の色染科がここに発展的解消の緒につきました。

卒業生のみなさまには、そのよから消えてしまふのではないかと悲しまれるのは、想像にあまりあることでございます。

しかし、染色を含めました繊維産業界の動向を見ましたとき、素材の製造・加工といった面では、諸外国のはげしい追い上げを受け

た。

詳しくはファッション工学科の欄をご覧下さい。卒業生の方々にとっては非常に淋しい限りですが、現在、グリーンクラブの役員を中心に今後のOB会の運営方法を鋭意協議中です。

ご意見をお聞かせ下さい。また、繊維工業科在校生にも、引き続き、暖かいご指導ご支援をお願ひし、そして、新科に対してもさらなるご支援をいただきますよう、ご多忙中とは思いますが、ぜひご来校下さつて後輩のためご指導下さい。

て生産縮小を余儀無くされているとは言え、ファッション産業としてとらえて見ますと前途洋々たるものが感じられます。

業界で活躍されておられる卒業生や色染会理事のみなさまのお声（アンケート）を、十分に考慮しながら、色染工業科は繊維工業科と協同して、新しい構想にもとづいたファッション工学科を充足させることにいたしました。

色染科だけから言えば、染色に関するウエイトは大巾に減少はしますが、その反面、色彩科学やデザイン、テキスタイル、アパレル、インテリアなど、より巾広い

領域を取りこむことになりす。色染料がなくなるのではなく、従来の色染料を足場に、時代の趨勢に合わせて、新しい分野に踏みこんで行こうとしております。

卒業生のみなさまのほげましと暖かいご支援を、みなさま方の分身であるファッション工学科にいただけますことを、心より願っております。

○ 右のような次第から、職員室も三月中旬よりSDが一緒になりました。

長らく生徒指導に熱情を傾けてこられました伊藤利也先生は、今年春定年退職を迎えられましたが引き続き木・金曜の実習指導にあたっていただいております。後任には、デザインを専攻されました林子先生を、お迎えいたしました。また、この一年間は非常勤講師として、デザイン実習に谷卓司先生に来ていただいております。

このように職員の構成や雰囲気が変わりましたが、新しいものを創り出そうと、一丸となって燃えております。

○ 終りになりましたが、景気低迷の折にもかかわらず、今春卒業生の進路が別記のように決まりました。また、来春卒業する生徒につきましても、昨年同様に関連業界からは多数の求人申込みをいただいております。そして、関連

業界を受験した生徒は、ほとんどが一度で合格をしてきております。

これも卒業生のみなさまのご活躍のおかげと感謝いたしております。

セラミック科だより

卒業生の皆さん元気に活躍のことと思っております。本年セラミック科では、職員の移動は、科長が石井先生が藤岡と交替し他は昨年と同じです。一年の担任がセラミック科の河村先生がなられ、初めての体験でもありながら、前向きに取り組み、毎日ハッキリしています。

二年生の担任は池田先生で、二年目のクラスでもおもしろ、おかしくわきあいあいと生徒も学校生活を楽しくしています。三年生の担任は数学の小林先生が引き続き、担当し生徒から親しみをもたれ、何でも相談話し合っており、就職時期をひかえ、進路決定に意欲的に取り組んでいます。

4月28日には三学年合同で嵐山に行き、あいにくの雨でしたが、三年生が一年生に初めから校歌、応援歌などを指導しセラミック科の生徒としての自覚を固めました。また、体育祭が5月29日に行なわれました。ここ(念なこと

○ 8月21日より、高等学校開放講座「染色入門」を、本年も行ないます。毎土曜日、午後二時からでございます(12月4日まで)

ですが「パワフルセラミック」のあかしである、つな引きが、過去四連勝にもかかわらず今年は一回戦で敗退してしまいました。

来年の体育祭では、三学年が力を合せて、つな引きのみならず、応援や背景の優勝をねらって行きます。6月中旬には、住友シテック、三学年は大阪産業に工場見学に行き、生徒達は工業について

の見識を広めました。その時期に卒業生を囲む会を開き多くの先輩たちの考えや生き方の話しを聞き、卒業をひかえた三年生の進路の参考になりました。これらの学校行事は、多くの卒業生の多大の援助があり成功しました。お世話になった卒業生の方々まことにありがとうございます。今年就職は新聞報道などを見ますと、かなり苦しい活動になりそうです。

七月一日から就職活動が始まりますが、今後共母校への求人などのご協力をよろしくお願い申し上げます。(藤岡)

工業化学科だより

卒業生の皆様、お元気で活躍されていることと思います。平素は母校の為に何かとご支援、ご協力を賜わり誠に有難うございます。

今年職員異動はなく昨年と同じですが、日本工業化学教育研究会会長に濱中校長先生が就任され、同時に事務局担当を高野國博先生が引き受けられましたので御身多忙という事で、科長を和歌崎先生のように、工業化学科の隅々まで知っているわけがなく、何かと行き届かない事が多々あるかとは思いますが、よろしくご支援、ご協力をお願いします。

昭和五十八年頃から取り組み出した職業資格指導も、今では学校生活の一部となり、乙種危険物取扱者免状取得では一類から六類まで、すべて取得して卒業する生徒がでたり、また卒業してからも、色々な分野で、職業資格取得に

がんばる卒業生達も多数生まれました。これからは、生涯教育の一貫として位置づけ、指導方法にも一層の工夫と努力をしていきたいと思っております。

最後に七十周年記念事業としてご贈いただいたパイプスタンドは在校生達に極めて評判がよく、組立て、解体作業を通じての生徒と先生方との協力の中から新しい心のつながりが生まれています。体育祭の反省会で、一年生は「泉尾工業にきてよかった。あの体育祭には感動した、先輩とも先生とも一体感があじわえた。」二年生は「来年はオレ達が先生達とパイプスタンド組立のだから」と語ってくれました。今、学校教育の失なっているものが、泉尾工業の学校行事の中に生きていると思っております。

機械科だより

卒業生の皆様には、ご健勝で活躍のことと存じます。昨年の70(記念に際し、機泉会の皆様から多大なご協力を得まして、予想を上回る成果をあげることができました。大いに感謝

しております。特に記念式典での消防音楽隊による演奏会に当たりましては、M30卒の森部忠彦氏に絶大なご支援をいただき、有難く御礼申しあげます。

さて、今春のM科卒業生は64名であり、M卒業生総数は二九〇七名と成りました。それぞれの就職先は別頁の通りですが、その傾向は担任の先生の指導もあり、堅実な中堅企業への就職が目立つ年でありました。現在の三年生も、世情を反映して、中堅を中心とした企業への就職傾向にあります。先輩各位の企業からの母校への求人、活発に展開していただき、度々切にお願い申し上げます。

昭和40年代に、「新館」と呼ばれておりましたE・M科の実習室がある西館も、三〇年の年月を経過しますと、古い校舎に変わってしまいました。70周年ということで、昨年夏に全面塗装と改修工事が施行され、美しく変身しました。M科の実習工場（平屋）も、今春、塗装工事が施されましたので現在、機械科は外見上では泉尾工高で一番美しい科と成っております。

別記の通り、本年の体育祭でもここ数年の良き伝統・ムードと、生徒の活力によりまして、応援と背景、一年競技の部で優勝の栄冠を得ました。それぞれ九連覇・八

連覇という事でヤリ、目標であります。一方でプレッシャーも大きくなり勝ち進み方には、創意工夫と精進が不可欠と、職員、生徒とも気を引き締めております。

電 気 科 だより

紫電会会員の皆様にはお元氣で活躍のことと思います。

以前、新館と呼ばれていた電気科と機械科の入っている西館も建築30年余を経て随分老朽化して来ましたが、せめて外壁だけでも塗装をお願いしていただきました。昨年夏に外壁全面修復塗装工事が施工されました。薄いペーシユに塗装された西館は一見、新築校舎と見紛う程奇麗になりました。

さて電気科の中島武郎先生が3月末で別頁に挨拶文が掲載されていますようにご退職されました。中島先生は泉工在職29年の間に5回、担任として卒業生を送り出され、また電気科科長を8年間務められました。文字通り電気科の重鎮として電気科をリードされて来ましたことに電気科職員一同も心より感謝しております。誠実なお人柄と淡い声で熱烈指導を受けた卒業生も多いことと思います。中

レースが開催されます。一次審査で泉尾工高が選出されました。自動車部、機械科、電気科の生徒、職員が、夏休み返上で頑張っております。ご声援をお願いします。最後に、先報諸氏のご健康と、ご発展をお祈り申し上げます。

鳥先生の担任されたクラスの卒業生は同窓会を開くなどして是非、先生を慰労していただきたいものです。

今年も6月6日に第二種電気工事士筆記試験が実施され、恒例により電気科2年生が全員受験しました。よい結果が出るものと期待しているところですが、昨年は筆記試験、技能試験を経て2年生で27名、3年生で13名、合計40名が合格しました。これはここ数年間では最高の成果で、生徒、職員一丸となって頑張った結果だと自負しております。これからも電気科の特色としてライセンス取得指導には力を入れていきたいと思っておりますので紫電会の皆様も今後共母校電気科のPRとご支援をよろしくお願いたします。

水処理機械 設計・製作
据 付 一 式

間機設工業株式会社

間 文 彦 (M37卒)

〒555 大阪市西淀川区御幣島5丁目11-22
TEL (06) 471-5767 番
FAX (06) 471-5311 番

テンションコントローラーシステム
エイコー測器株式会社

代表取締役 中川 俊和 (M26卒)

本社 大阪市西区南堀江1-18-27
TEL (06) 533-1801
松本工場・東京営業所



株式会社 水原フोटグラフ

〒543 大阪市天王寺区大道4丁目1番5号

TEL (06) 771-2068 (代)

771-2025



学校卒業
アルバム製作



大阪白水会東京支部
総会に出席して
学聞親交
楽舞酔酒

7月6日(火)東京白水会のお招きを受け大阪より榎尾会長、濱中校長、旧職員の山崎(剣道担当)、数本(営業)、水谷(繊維)、斎藤(工業化学)の各先生と現職の電気科大平先生と私の計8人が参加致しました。当日は総勢45名で、4時30分より昭和3年卒業科卒の塚常和氏の講演がありました。

明治初期の産業機械の導入(メリヤスの機械等)、日本で軍靴を製造するに至る話や炉の煉瓦積み等の苦勞話等、巧みな口調でお話頂きました。

6時からは懇親会に移り、なかなか交歓会が開かれ、恒例の福引、いつも艶やかに、かつ華麗に舞われる昭和4年応用化学科卒山口氏夫人の舞踊等盛り沢山のアトラクションがあり、話はずみ大盛会でした。お世話頂いた大道支部長はじめ宇佐美、丹羽、玉田、有上の各氏及び東京白水会の皆様方に厚く感謝申し上げます。

33年工化空高 博記

ご苦勞さまでした。

泉工のために長年ご尽力いただきました。本年でご退職・ご転任された先生方です。先生方の今後の御健康と御活躍をお祈りいたしましょう。

氏名	教科	
田中 孝治	教頭	工芸教頭
伊藤 利也	色染	定年退職
中島 武郎	電気	特別退職
川口 正義	社会	高校教育課
除本 泰喜	数学	西野田工
坂東 永智	理科	聖母被昇天学園
和田 忠秋	庶務	特別退職



覚えてますか
ホーロー製の旧学校名板
現在南館5F記念館に保管

はじめまして

氏名	教科	
村尾 勝緒	数頭	都工教頭
川上 巖	電気	生二工
浅沼 彰	数学	新採用
松田 真和	フッ	新採用
林 典子	〃	新規
園山 清則	社会	新規
石田 晴彦	庶務	粉浜幼
(本年度非常勤)		
垣内 正澄	理科	継続
山口 景生	理科	新規
伊勢ひとみ	社会	新規
重村江利子	保体	新規
田口 清子	家庭	新規
小倉 正	セラ	新規
堀田 幸利	工化	継続
三羽 昭典	工化	継続
上村 隆弘	機械	継続
谷 卓司	フッ	新規
井上 葛	機械	継続
伊藤 利也	フッ	新規

母校短信

吉田美希さん
マレーシアへ

大阪市工業高校生徒海外派遣事業として、マレーシアへ派遣されるメンバーとして、色染工業科三年生の吉田美希さんが選ばれました。

吉田さんは、七月十一日より約

二週間、現地の技術系の高校等で技術交流を通してマレーシアへ派遣される業技術、社会、歴史などに関する理解を深めてまいりました。

訃報

六代会長 飯田 年春氏

大阪白水会六代会長を務められた飯田年春(S4)は、本年

七月二日ご逝去され、同四日に告別式が営まれました。飯田氏は、紡織科同窓会である紡織会のお世話をされるとともに大阪白水会長として格別のご尽力を賜りました。温厚篤実なお人柄で、母校に對しても様々なお力添えをいたしておりました。氏のご冥福をお祈り申し上げます。

1993年3月卒業生の進路状況

(就職進学男子1名→専門学校に算入一自営)

今春の母校泉工卒業生は、二八七名で、その進路は別記の通りです。

平成四年度 新入会員

平成四年度卒業生の進路

◆繊維工業科

秋元 操

伊井 政昭

池田 幸司

石川 誠

石野 美夏

岩松新一郎

上沢 亜矢

川口 圭

河西慎一郎

貴田 亜紀

清里 一範

佐藤 明美

小谷 和寛

鈴木 智子

高橋 美紀

高橋 美紀

谷川 英夫

田村 義治

田村 義治

田村 義治

田村 義治

田村 義治

トヨタ自動車 服部良志夫
大阪印刷インキ製造 林田 康弘

サイガ運輸機工 藤本 敦史
外 明子

御日本紡績検査協 松尾 育子
御毛製品検査協会 関西検査所

御栗田機械製作所 松尾 潤子
御三景 大阪支店 森川 浩一

御東亜紡織機工 森下 博史
◆色染工業科 入口 昭子

御新日本プロセス 馬原 修
御明成商会 梅木 崇

御石丸建設 大城 美絵
御森田洋晒 奥野製菓

御キリスト教保育 御三好組
御吉川工業 山村硝子

御岡化学工業 岡本 徳之
御ダイカン 重倉 信

御田崎真珠 藤原 憲勝
御新興化成 多和田英夫

御黒川染工場 井上 薫太
御成安女子短大 中本 良信

御信組合大阪興銀 高田鋼材工業
御ダイヤ精工 高田 憲二

御イトマン食品 藤田由里子
御西村 理佐

共和技術工 松田 静恵
丸尾友佳子
丸岡 貴代

セツナン化成 藤原 憲勝
光華女子短大 山川麻衣子

松尾探染 松尾 裕子
吉本 福美

◆セラミック 穴吹 博史
科物ユリイカ 安藤 勝

日本硝子 石原 健治
大阪ハイテックノ 健治

カネボウ化粧品 内倉ともみ
磯寿司 内山 京子

井ゲタ網管 大城 泰道
奥野製菓 岡崎 宏幸

山村硝子 甲斐 逸司
泉州電業 河合 崇旨

日本硝子 岸上 忠雄
産業技術短大 清原 貴之

第一貨物 兒玉 浩治
泉陽光学 佐々 建二

日本増場 多和田英夫
井上 薫太

日本電気硝子 中本 良信
東洋紙業 中本 良信

高田鋼材工業 高田 憲二
高田ニッカト 高田 憲二

児島電機 山根 猛也
大トー 山本 和央

山梨学院大学 渡部 博文

◆工業化学科 日本油脂硝子 東 二郎
日本製紙硝子 上村 大輔

住友ベークライト 住友 貴士
住友ニチコン 大前 博之

伊藤ハム 恩庄 政行
住友ニチコン 上堂 祐二

大阪セメント 木戸 幸一

日新製鋼 古波津賢典

オリエント化学工業 小松 健一

御関西テック 近藤 亮一

住友化学工業 真田 剛司

南海電気鉄道 白崎 勇

大阪ニット染工 十川 博之

住友金属株式会社 田村 武司

塩野義製菓 月村 泰将

大岩機器工業 中村 健太

不二熱学工業 中山 誠

中山家具 名川 秀人

西口 和彦

原田 勉

平井 和也

福園 恵治

フジケミカル㈱	福田 義訓	住友化学工業㈱大阪工場	トヨタカローラ南海㈱	越谷 慶	東洋紙業㈱	石川 朝人
ファイグラ㈱	本田 政行	平田 正樹	後藤 一智	坂本 浩務	コンピュータ総合学園HAL	石田 則明
邦伸工事有限公司	山内 宰夫	三菱ガス化学㈱浪速工場	坂田 信二	植田製油㈱	佐原 康彦	有年田 豊
不二サッシ㈱	山田 栄治	藤原 勝弘	兵庫科学技術専門学校	澤田 敦至	オカダアイヨン㈱	鮫島 久輝
大阪資生堂㈱	山中健太郎	増田 康範	興國車輻㈱	土屋 憲	墨水交易㈱	志村 慎吾
東洋ゴム工業㈱	吉岡 英一	松元 誠	日本鋼管工事㈱	寺尾 浩	㈱アマダメトレックス	下田 謙一
住友ベークライト㈱尼崎工場	吉村 昌浩	宮崎 修	産業技術短期大学	中島 良明	㈱ヤナセ設備工業大阪支店	高原 大悟
㈱白文社	若本 匡範	㈱クロバークーパーレーション	㈱三木塗装店	沼島谷智之	橋本 政男	立石 秀勝
住化フラインケム㈱	飯尾 良治	宮地 悦士	山田産業	大阪府立守口高等職業技術専門学校	花山 栄治	高槻ダイカスト㈱
㈱桃谷順天館	伊東 寛也	森下 隆史	大阪府立守口高等職業技術専門学校	火之浦 優	伏田 彰宏	星光ビル管理㈱
日本ベイント㈱	入山リツ子	山岡 貴嗣	日本化学機械製造㈱	東京アメミヤ販売㈱	前田 徳仁	東海旅客鉄道㈱関西支社
㈱サトーセン	岡田 新吾	山口 温治	㈱日阪製作所	二葉計器㈱	松本登茂也	進学
アドバンテック東洋㈱	角尾 誠一	山崎 賢士	川崎設備工業㈱大阪支店	川崎設備工業㈱大阪支店	宮里 孝志	電算フォーラム㈱
水谷ベイント㈱	川畑 誠	山中 義信	㈱クボタアグリ大阪	山下 耕穂	三菱電機エンジニアリング㈱伊丹事業所	清和エンジニアサング㈱
コウノイケ・エアポルトエンジニアリング㈱	木村 仁	吉田 伸幸	函館大学	大和 佳史	川崎設備工業㈱大阪支店	藤本 学
住化フラインケム㈱	小林伸太郎	穴見 勇市	大阪いすゞ自動車㈱	山中 克浩	日本コムシス㈱	三浦 友和
日本メンテナンスエンジニアリング㈱	近藤 力	岩崎 満	御新光建材	横田 良介	日立造船エンジニアリング㈱	三上 裕樹
大倉工業㈱	佐藤 宣徳	上見 昌義	大阪いすゞ自動車㈱	吉野 紀彦	日立造船エンジニアリング㈱	山下 敬一
住友化学工業㈱大阪工場	青尾 里美	宇佐美亮治	御新光建材	青山 秀司	日立造船エンジニアリング㈱	山下 敬一
自衛隊	早田 賢明	大衆 慎一	御新光建材	浅田 浩	日立造船エンジニアリング㈱	山田 茂雄
十條製紙㈱	近田 学	柏本 真宏	御新光建材	天野 英樹	日立造船エンジニアリング㈱	山田 茂雄
広栄化学工業㈱	中川 勝美	大衆 慎一	御新光建材	天野 英樹	日立造船エンジニアリング㈱	山田 茂雄
関西ベイント㈱	中村 修	大衆 慎一	御新光建材	天野 英樹	日立造船エンジニアリング㈱	山田 茂雄
日新製鋼㈱大阪製造所	中村 哲雄	大衆 慎一	御新光建材	天野 英樹	日立造船エンジニアリング㈱	山田 茂雄
テイカ㈱	浜谷 宗弘	大衆 慎一	御新光建材	天野 英樹	日立造船エンジニアリング㈱	山田 茂雄
ラサ工業㈱大阪工場	濱田 孝宏	大衆 慎一	御新光建材	天野 英樹	日立造船エンジニアリング㈱	山田 茂雄
サンスター㈱	彦田 浩之	大衆 慎一	御新光建材	天野 英樹	日立造船エンジニアリング㈱	山田 茂雄

テックエンジニアリング

花澤 慎隆
ダイハツ工業
清野 豊
飛田 亮
上新電機
國光 正人
藤井 宏人
船倉 忠司
三好 功一
近畿日本鉄道
星光ビル管理
近畿日本鉄道
トヨー電気工事
石田施設
接原電機
関西東芝情報機器サービス
天王寺アカデミー専門学校
ダイハツ工業
東芝ランド建設
光洋精工
植田製油
住友電気工業
大丸クリエーション
大西 輝雄
栗本鐵工所
大阪障害者職業能力開発校
大阪ガス
大阪関西電気保安協会
エム・アイ・ディ・ビルサービス
大阪美術専門学校
高田管理工業
関西技能開発センター
徳分所
菊地 進
ダイスプレイトクノロジー

後輩のために助言

「卒業生を囲む座談会」出席者

- 佐野 明德 (織維工業科 6月23日)
- S 35 永田 元宏氏 (東和織物)
- S 40 年磨田昭男氏 (タイトサービス旅行部)
- H 3 辻本 真明氏 (大和銀総合システム)
- H 4 中尾 直美氏 (日本紡績検査協会)
- H 5 松尾 潤子氏 (毛製品検査協会)
- H 4 色染工業科 6月23日
- S 35 林田 慶三氏 (パリゼンス)
- S 63 生島 美幸氏 (サンスター技研)
- H 1 石井 孝治氏 (新興化成)
- H 2 越智 久通氏 (松尾探染)
- H 3 日高 真知子氏 (西野金陵)
- H 4 坂井 真純氏 (摂南大学)
- ◇セラミック科 6月21日
- S 47 山下 秀雄氏 (セントラル硝子)
- H 1 奥田 仁氏 (日本ビゲメント)
- H 2 仲里 賢次氏 (大ト)
- H 2 武市 富男氏 (大阪窯業)
- H 3 松本 善文氏 (シエクト)
- H 4 西島 毅氏 (東洋ガラス)
- ◇工業化学科 6月24日
- S 63 竹内 正和氏 (日光化成)
- H 2 横山 智之氏 (荒川化学工業)
- H 4 谷口 広幸氏 (サンライズエンジニアリング)
- H 4 吉田 豊寿氏 (川上塗料)
- H 5 入山リツ子氏 (日本ペイント)
- H 5 飯尾 良治氏 (住化フラインケム)
- ◇機械科 6月22日
- S 34 北田晶由樹氏 (ホクデン工業)
- S 56 上原 智氏 (日商機械)
- S 61 木本 典男氏 (植田製油)
- H 2 杉田 和宏氏 (川崎設備工業)
- H 3 辛川 哲也氏 (デン)
- ◇電気科 6月26日
- H 3 吉岡 豊和氏 (松下冷機)
- H 3 野田 浩次氏 (関西電力)
- H 3 西川 慎也氏 (三菱電気ビルテクノサービス)
- H 4 河内 照彦氏 (関西東芝情報サービス)
- H 4 吉岡 秀樹氏 (トヨー電気工事)
- H 4 桑田 勝大氏 (MIDビルサービス)
- H 4 寺西 浩一氏 (南海電気鉄道)

染料・顔料・工業薬品

平岡染料店

平岡利隆 (D31卒)

☎543 大阪市天王寺区国分町18-11
TEL (06) 771-7426
FAX (06) 779-7794

寧地屋 (néitjér)

社長 奥野順一郎

☎542 大阪市中央区西心斎橋1丁目6番14号
ビッグステップ2F #2620
TEL 06-258-5147



入場行進

第71回泉尾工高体育祭

『ファイヤー
泉尾工業』
フレイフレー
ファッション工学科

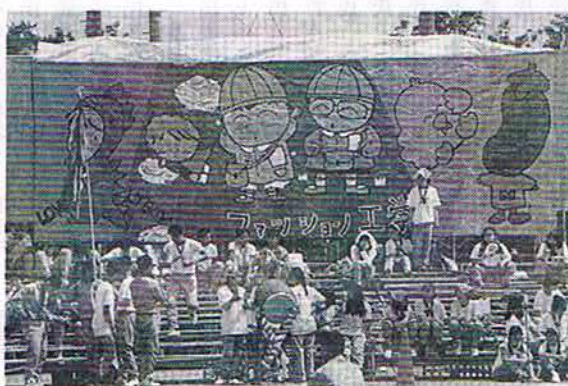
「ファイヤー泉尾工業」をテーマに開催されました。

天気にもぐまれた五月二十九日。「ファイヤー泉尾工業」をテーマに開催されました。パイプスタンドも二年目、組立てにもなれて来たとはいえかなりの重労働、しかしその苦勞も意匠工夫を凝らした各科の背景のもとに大応援が、一日中行なわれ、最後の応援合戦へと盛り上がり、昨年に増倍する泉尾工高体育祭となりました。本年の体育祭の成績は別表の通りです。

		優勝	2位	3位
競 技	総合	D	M	A
	3年	M ₁	M ₂	A ₁ A ₂
	2年	A ₂	D	M ₁
	1年	A ₂	M ₁	C
応援	M	A	S	
背景	M	A	S	
仮装	努力賞		F	



エール交換



F科背景



綱引き

部 活 動 報 告

ラグビー部

各学年毎、10人前後の部員数で総勢35名の所帯となりました。人数的にはまだ不足とされていますが、かつて一チームがやっとなった頃に比べると夢のようです。今年の特長は、突出したすぐれたプレーヤーがいないので、その分各プレーヤーのサポートの意識が強くなりチーム力がアップしています。また有力な新入部員の参入が大きく貢献しているのも事実です。春に数回行った練習試合で、以前互角であったチームには勝て、大きく水を開けられていたチームには、その差を縮めることができました。秋の大会までにはさらに力をつけていくつもりです。OB、OG諸姉諸兄の応援を頼みます。

レスリング部

昨年は、58kg級グレコローマンスタイルで、世界ジュニア選手権に出場し、またインターハイに2名、国体に1名出場することができました。今年には部員が少ないため、なかなか十分な練習ができませんが、それでも何とか工夫して練習にはげんでいます。今年目標は、部員を増やし団体戦に出場すること、また個人戦では全員で近畿大会に出場することです。今後とも、ご支援よろしく願い申し上げます。

水泳部

現在、部員数15名(内、女子3名)少人数ながら、日々の練習に励んでおります。昨年は、市立総体で個人優勝を含め、男子総合2位という成績を残すことが出来ました。残念ながら中央大会には、もう一步のところで1名しか出場できませんでした。

本年度も、中央大会出場を目指し頑張っていますのでご支援のほど、よろしくお願いたします。サッカー部

サッカー部

新一年生の入部もあり、部員数40名を超えるクラブになりました。ここ数年、戦績は向上せず苦しい試合が多かったのですが、最近ようやく力をつけて来ました。土・日および祭日の午後、グラ

ド全面を使った練習をしていますので、OBの方も参加していただければと思います。

硬式野球部

現在部員数は四十三名です。一年生の入部者が九名で例年になく少人数です。

昨年秋の大会は、三回戦で、工業大会も三回戦で敗退しました。今年に入り春の大会一回戦工業大会二回戦で敗退しました。練習試合でもあまり良い結果は出ていません。今年のチームは、打力、守備力はまあまあだと思われるが、投手力が弱いため、大量失点で敗けています。最近になり投手力もかなり回復してきました。部員一団となって日夜練習に励んでおります。

軟式野球部

現在、部員数は、三年8名、二年8名、一年7名で計23名で活動をしています。

活動場所も、泉尾グラウンドが週に3回しか使用が出来なくなり、練習困難になっています。

美術部

顧問の先生も、堀田・伊藤両先生も退職されて、指導者が手薄になつており、伝統ある軟式野球部を、再度、復活させるように部員と顧問2名でがんばっています。

顧問名、白戸・浅沼

男子バレー部

現在の部員数は、20名です。練習は、5時30分まで3年のキャプテンを中心に、基礎トレーニングを含んだメニューをこなしていきます。

昨年の主な戦績は、市立大会3位です。これからの主な予定は、秋の市立大会です。それに向けて全力でがんばりたいと思います。

陸上部

現在陸上競技部は、男女合わせて15名で活動しています。春のシーズンでは、各自の自己記録を更新し、昨年から練習の成果が出たように思います。しかしながら、大阪全体の競技レベルには、まだまだとどかない状態です。

今後は、秋の市立大会の上位入賞をめざして、毎日の練習にはげんでいきたいと思ひます。みなさまの応援をよろしくお願いたします。

美術部

新入生に絶えて久しかった部員が二人入部し、活動が再出発しました。一からの出直しで外部への発表はまた先になりそうですが、基礎的な描写力をまずつけて、地

◆印 各種建築家具金物製造卸



株式会社 浜 国

本社 〒578 東大阪市 鴻池1672-1
TEL (06) 746-1921(代)
FAX (06) 746-7878

札幌営業所 〒003 札幌市白石区北郷5条6丁目3-5
TEL (011) 872-2772
FAX (011) 872-2749

“色を選ぶ時代になりました。色に関して技術で無限の美しさを追求します”

毛糸、敷物用の糸及び紡績原料の染色加工
北嶋染工株式会社

社長 北嶋 豊 (D20卒)

〒595 泉大津市昭和町5番2号
TEL (0725) 21-4116(代)
FAX (0725) 22-4522

道な努力を続けていくつもりです。

△科学部▽

昨年度までのしばらくの間、部員不在のため休部状態でしたが、現二年生のうちの探究意欲旺盛な男子部員三名が十月に入部、少しずつでも活動できるようにしました。活動は月二回が原則ですが、水槽内の生物の世話など適宜おこないます。

その他、十一月にはスイフトⅡタートル慧星の観望会を奈良・室生にて、三月には磯の生物観察会を和歌山・加太海岸にて催しました。今年度も月食観望、昆虫の採集と飼育、化石採集、キノコ類の採集など、多彩な内容の企画をすすめてあります。

△自動車部▽

昨年度の文化祭にてタミヤの太陽電池を使ったラジオコン自動車を発表したところ、大きな反響があったので今年度は本物のソーラーカーラー(エコ・エナジー・OSAKA・93)に応募したところ、21校応募の中から10校の選考に残り出場が決まりました。9月23日(木)秋分の日、雨天の場合は26日(日)に堺市金岡の大泉緑地にて実施されますので、当日は先輩諸氏もお子様同伴にてぜひとも応援にお越し下さいますようお願い申し上げます。

△鉄道研究部▽

昨年度の文化祭は70周年記念行事ということで、これまでよりスケールを大きく広げた運転会を実施し、優秀賞をいただきました。

今年は、かねてより製作中であった電源装置が完成したので、運転操作が集中管理できるようにになりました。文化祭では見学者による運転体験もスムーズに進行するものと思われまます。なお、毎年この日に合わせてOBの方々が親睦会を催してくれるのが恒例化してきましたので、友好の一助になればと「鉄研名簿」を作成しましたのでどうぞ活用下さい。現在は2・3年生7名の部員が活動中です。

△映画研究部▽

昨年度、今年度と、残念ながら部員がおりませんが、ロードショウを見に行つてディスクッションをしたり、学校案内のビデオを作成したりなど、活発に活動しておりました。「映画を見る」だけでなく、「映画を作る」ことで、映画を見る姿勢がずい分変わっていったようです。

現在は部員がおりませんが、映画好きの楽しく集う場になればと思います。

△ブラスパンド部▽

ブラスパンド部は、部員もふえて現在は4人になりました。今までは人数が少ないために、なかなかブラスパンドらしいクラブ活動ができませんでした。でも今年はずこしふえたので期待できそうです。今年の文化祭は昨年とちがう趣向をとりいれて楽しんで聞いてもらえるような演奏をしたいと思

います。

〆〆〆にも村上三島氏〆

雨続きの今年の夏、雨の合い間を利用してある日、春日大社に出かけました。

参拝を済ませ、ひよいと横を見ると、村上三島という文字が見えました。よくみると大祓詞の書写でした。

社務所を訪れ、その経緯をお尋

ねしたところ、わが国では古くから八十八度・戴百度・千度・万度・戴度といつて、大祓詞を何度も奏上したり、書写する信仰があり中臣の祓詞とも呼ばれます。

この祓詞を中臣の祖、天児屋根命をお祭りする春日大社の大前に書写し奉納することにより、心身の浄化とともに、大神様のご神徳が得られると言われているそうです。

この大祓の全文はとても長く、書写するのは大変なので、重要部分のみ書写するという事です。

神社では書写の手本を書いて頂くのいろいろな検討され、村上三島氏にお願いすることになったそうです。欄宜の上出尊氏が赴き村上三島氏の承諾を頂いたとのこと

です。奈良に寄られたら、一度春日大社に参拝されてはどうでしょうか

最 要 校

(高野 国博)

- 高天原 神留 工 坐 出
- 皇 祖 神 湯 岐 神 湯 美 命 以 加 比
- 大 神 祝 詞 乃 大 祓 詞 第 十 空 礼
- 此 大 祓 詞 乃 大 祓 詞 第 十 空 礼
- 登 云 乃 登 云 乃 登 云 乃 登 云
- 秋 鈴 乃 清 鈴 乃 清 鈴 乃 清 鈴
- 八 百 萬 神 等 諸 共 出
- 左 男 虎 乃 八 乃 年 十 律 立 止 止
- 閑 食 乃 閑 食 乃 閑 食 乃 閑 食

本 約 第 巻 願 意
 社 務 所
 氏 名
 月 日 書 字

精密金型製造販売
金剛ダイス工業株式会社

取締役製造部長 広尾正樹(D41卒)
 精密放電加工班主任 松尾剛一(D53卒)
 本 社 工 場 〒547 大阪市平野区平野北2丁目5番11号
 TEL (06) 792-4562代
 和歌山工場 〒640-11 和歌山県海草郡野上町小畑144-3
 TEL (0734) 89-2047代

建築環境金属製品設計製造販売
ホクデン工業株式会社

代表取締役 北田 昌由樹 (M34卒)
 山上 アキラ (M36卒)
 池 内 佳 正 (M61卒)
 工場/大阪市西淀川区大野3丁目5番14号
 電話 06(475)5050代 FAX 06(471)8363
 本社/大阪市西淀川区大和田5丁目22番19号

退職にあたって

中島 武郎

願わくば長命を

得るだけでなく

人間本来の望みの

長寿を完うしたい

大阪白水会会員のみなさん、こんにちは。私は昭和三十九年から今日まで二十年間泉工電気科にお世話になった中島と申します。

なぜかむかしは「鬼の中島」といわれ、廊下を歩く時のスリッパのその音は、生徒の首すじを凍らせるといわれた頃もありました。晩年はすっかり老いばれてしまいました。生徒達からは「中島のおじん」略して「なかじん」と呼ばれ、まったく「仏の中島」になり果ててい……と本人は思っています。

退職したいま過去をふりかえってみますと、やはり永い間には悲喜交々いろいろなことがありました。

人生には自分では良かれと思っ……て一所懸命がんばったつもりでも結果は裏目に出てしまい、人様に迷惑をかけガックリというよう……なことがよくありますが、私にもこ……ういうことが何回ありました。

しかしながらこれもよくよく考……えてみると、やっぱり私自身の研……究心と修養が足りなかったからで……あって深く反省しなければならな……いと思っております。

さて現在の生活ですが、永年の……ストレス性(？)肥満からくる保……健上のいくつかの問題点を改善す……るべく橿原市保健センターの御指……導を得て努力しております。

ただこれがいつまで続けられる……か自分でも甚だ心許ない次第で……す。

近く私も第二の青春の始まりと

十五年間を振り返って

川口 正義



昭和五十三年の三月、大阪市立泉尾工業高等学校から、面接を……したいので、出てきてほしいとい……う

いわれる選考を迎えますが、この……青春は第一のそれとはちがいで、物……静かでも残された時間が割合……い短い特徴とします。それ……にだけに後悔のないようにしたい……ものだと思っております。

とはいももの最近では医学そ……の他、社会環境の改善などにより……昔に比し長命を得易くなつてはお……りませんが、願わくば単に長命を得……るだけでなく人間本来の望みでも……ある、いわゆる長寿を完うしたい……と思うのは私のもつ強欲さであり……ましようか。

それではこのへんで最後に会員……のみなさんの言葉を折っておわか……れを申し上げます。

平成五年五月

さようなら

ではないん」とつぶやきながら……塀をぐるっと回りました。すぐに……学校らしい建物が見えてきまし……た。ところが、ここは北恩加島小……学校だったのです。結局泉尾工業……高等学校の塀を一周することにな……りました。

このようにして工場と見間違え……た学校に十五年間もお世話になる……ことになりました。大学院をでた……ばかりでなにも知らない私を先輩……・同僚の先生方に丁寧に指導い……ただきました。また現在では白水会……会員になっておられる卒業生の皆さ……まからも多くのことを学ばせてい……ただきました。

色染工業科をはじめ、いくつか……のクラスの担任をさせていただき……ました。優秀な生徒、根気のある……生徒、特殊な才能をもった生徒、……それぞれに魅力のある生徒に出会……うことができたのも私にとって大……きな財産になっています。卒業生……の皆さんが、社会で活躍しておら……れる話を聞くにつれ、うれしくな……ってしまいます。

大阪市立泉尾工業高等学校で……は、「国際経済」という教科書を……はじめ、五冊の本を書くことがで……きました。これも一重に、先輩・……同僚の方のご指導、卒業生の皆さ……まとの対話が、大きかったと思っ……ています。保護者の方のご配慮……も、深く感謝いたしております。

このように、振り返ってみます……と、私にとりまして、大阪市立泉……尾工業高等学校での十五年間は、……なにもにも代えがたい経験でし……た。どれほど感謝しても、しすぎ……ることはありません。本当にあり……がとうございました。

大阪市立泉尾工業高等学校なら……びに白水会が、なお一層、発展す……ることを願ってやみません。今後……はそれぞれの分野で、専門性や系……統性が重視されるのではないでし……ようか。泉工が時代の変化に適応……するだけでなく、先覚者の道を歩……まれることを期待しております。

(一九九三年五月三十一日脱稿)

コイルセンターのパイオニア

スリット・レベラー加工及び販売



大阪鋼圧株式会社

代表取締役社長 稗田英紀

本社・工場 〒551 大阪市大正区泉尾7丁目1-11
TEL 大阪 (06) 554-0320 内
FAX 大阪 (06) 551-1095

先生

お元気ですか

米 田 茂 先生

(S36~S60)

まあ

元氣な方

ですよ。

定年を迎えて学校を去ったのが昭和六十年三月末、「光陰矢の如し」今から思えば全く夢のように早く過ぎ去るものだと思う。折にふれ回想するのもまた楽しいものです。

非常勤講師をした時期もあったが、それもすぐ終わった。あの頃の生徒も今は皆卒業してしまっていて、知った生徒は既に居ない。先生の方も年々新顔の先生と代って、知っている人も僅かな数になっているだろう。昨年七十周年式典に参列させてもらったが、その時組織科の先生も四人知っているだけ、今では三人だけの筈、科名も変わってファッショングラフィックデザイン工学科だそう遊びに行っても浦島太郎が里帰りし

たようなものだ。

平成四年は私にとって忘れられない年となってしまった。妻を痛で亡くしたからだ。半年の闘病生活は本人は勿論苦しい日々だったと思うが、私も看護で辛い毎日だった。西宮の病院へ日参しなければならず、最後は病院に泊り込むこと三週間、その後は加速度的に病状が悪化して、一月二十二日が遂に取り返しりの付かぬ日になった。

男一人残されたので、今まで女のやっていた仕事も自分でやらなくてはならない、食事のこと、洗濯掃除と毎日毎日同じようなことを繰り返してやっていた。女の仕事の大変なことをしみじみ感じながら辛抱して続けている。「男やもめに蛆がわく」など噂されないように堅実に、くよくよせず、行雲流水の心境で暮らす積りだ。

毎日家に居ても満足な運動も出来ないで、毎週一回体育館に出掛けて軽スポーツをやって汗を流している。最近新しいスポーツが沢山出てきている。外国から輸入されたものもある。ラケットテニス、インディアカ、グラウンドゴルフ、ターゲットボードゴルフ、ベタンクゲーム、ソフトバレーボール等々、この中、私達がよくやるのはグラウンドゴルフ、インディアカ、ラケットテニスである。

体育館にやって来る人は四・五十才の女子や六十才を過ぎた男子「人生七十古来稀なり」といわれた時代から「人生七十今はさらなり」に変わって七十過ぎの人も私も含め何人か来ている。私達のクラブは現在二十七名。男九名、女十八名その中で私が今年の代表者になった。

「東レ白水会」の近況

河内長野にはこのようなクラブが四十五以上あるようで、体育館を月二回使用出来れば良い方だ。体育館を使用出来ない時はグラウンドでグラウンドゴルフをやっている。また歩会も計画して、少しでもスポーツが出来ようと考えています。

(米田 茂)



東レ株式会社

母校、泉工の変わりように全員がびびりしていました。昔の校舎は一棟も残っていません。校舎地域とグラウンドが東西入れ替わっています。紡織・色染科が「ファッショングラフィック」(「工業科」)にそれぞれ姿を変えています。さらに、新しいパソコンが整然と並んだコンピュータ室、大きな体育館、たくさんの女子生徒の姿など目新しいことがいっぱい。

そんな中で、旧本館の正門の両脇にあったライオンの彫刻が、新しい本館の玄関ホールに飾られていたのを見て、懐かしさをおぼえました。

以上は、さる六月四日、われわれ東レ(株)に勤務する泉工卒業生一〇人が、母校を訪れた際の印象です。

東レ(株)には、現在二〇人の泉工卒業生がおります。昭和三十三年〜四十年の卒業生です。大阪・滋賀・岐阜・愛知・福井・千葉・茨城の事業場に散らばっており、仕事も研究技術開発・生産・営業・システムなど多岐にわたっています。

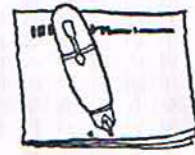
「東レ白水会」発足させたのが昭和三十五年。母校の化学科の初代卒業生で、(時、東レの役員を

今春の集まりの際、「一度母校を訪ねては……」との提案があり、早速、浜中校長にお願いしたところ、快く受けていただきました。校長には、ご多忙の中を、校内を案内いただき、さらに、われわれのささやかな懇親会までご参加いただきました。お陰で、メンバー全員が、三十年前を思い出しながら楽しく過ごすことができました。

当日お世話になった浜中校長はじめ諸先生方に多謝するとともに母校の発展を祈っております。

(A34 伊藤寛文)





会員だより

母校七〇周年記念
募金用紙に記された
会員からのコメント
です。

D 2 白石 巖
白水会報を楽しみにする感懐と
なりました。健康です。

D 6 森本兵太郎
平成二年、脳こうそくにて入院
九死に一生を得て、目下自宅療養
中、大阪へはちよつと行けませ
ん。残念です。

D 9 安田 育雄
近くにD3西村桂一氏が御健在
にて、老人会、謡曲等御指導を受
けています。

D 20 市川 景一
松垣薬品で頑張っています。

D 20 鈴木 寛治
東洋染工を昨二月に退職し、菜
園を楽しんでいます。

D 36 園分 滋朗
現役でまだまだがんばっていま
す。あと20年は。

D 46 宮原 恵子
平成三年の同窓会にて、次回の
幹事をおおせつかりましたが、未

平成5年度担任一覧

年 科	1年		2年		3年	
	正	副	正	副	正	副
F1	中野	松田				
F2	堤	正塾				
S		村上雅	桑原白	山本佐	安藤山	藤山田
D		松島	池久保	小林伸	藤岡足	立井上
C	河村	前川	大久保	坂本大	石真	乾
A1	堀端	木村	稲田	井鳴谷	大石真	村
A2	青木	西本	川井田	谷	村	上
M1	酒井	門野	川村	姜	乾	佐々木
M2	島田	黒田	西平	兼坂	山田信	金
E1	夏村	小林	下	坂	大	平
E2	小西	河合	山城			

D 53 邑智 信恵
昨年六月に三人目(女の子)が
生まれ、毎日子育てにおわれてい
ます。

C 2 田中 十三
田中修三改め田中十三。
A 16年卒 大神信五郎
昨年は町内会会長をやり、ヨー
ロッパへ旅行と若干忙しい年でし
た。今は時折歴史書を読んだり、
自分史を書いたり、美術館誌を見
たりです。今年是中国へ行ってみ

C 42 吉田 正勝
住所変更、〒229相模原市古
淵1-29-11 TEL 0427-58
14585元気でやっています。
C 42卒の誰かさん。ヨコハマに來
る時は、一報して下さい。

D 49 木口 稔子
前田校長が退職なさったんです
ね。私達の間ではカキパン先生と
呼んでいました。いつもオレンジ
色(カキ色)のジャージをはいて
らしたからです。教えてもらいま
せんでしたが、よく話をした思い
出があります。

C 20 佐野 武市
住所表示変更、守口市大久保町
2丁目27-7。H4・5・11
C 32 曾根 朗
住所表示変更、川西市多田院2
丁目13番4号に変更しました。

A 63年卒 山畑 克明
今年からサラリーマン一年生で
います。コマージュ関係の仕事をし
ています。
A 29年卒 平島 幸一
パソコンで財務処理をやってい
ます。定年まであと2年、身体が
丈夫だけが取り得です。

C 11 石田 富三
昨年4月、脳硬塞にて倒れまし
たが、現在は回復、元気に勤務し
ています。住所表示〒584富田
林市東板持町2丁目5-16に変更
しました。H4・7・31

C 42 吉田 正勝
住所変更、〒229相模原市古
淵1-29-11 TEL 0427-58
14585元気でやっています。
C 42卒の誰かさん。ヨコハマに來
る時は、一報して下さい。

旧職 藤平 昇三
武庫川スポーツクラブ運営委員
フルマラソン大会場四〇回すべ
て完走(一九九三年四月十八日)
藤平 昇三
右のような名刺をつくられた、
特別会員の藤平先生、City Run-
ner 5月号(1998)読者の広場に
も、「復活した陸上部が大会で優
勝した」と現任校の大阪市立第二
工芸高校で休部状態だった陸上部
を復活させ、定時制総合体育大会
の陸上の部で男女総合の完全優勝
に導いたとの記事を掲載されてい
ました。先生の活躍をご紹介し、
さらなる健闘を祈ります。

創業60年
綿メリヤス、ニット混紡生地、二次製品染色加工

株式会社 黒川染工場
代表取締役 黒川 忠 司 (D32卒)

工場 〒534 大阪市都島区東野田5丁目11番24号
TEL (06) 924-3358 FAX (06) 924-3520
倉庫 〒536 大阪市城東区野江1丁目2番11号

●関連グループ
大黒工業(株)(生地販売)
株式会社ケイテック(アパレル製品販売)
上海黒川紡織有限公司(一貫工場)

染料・工業薬品・染色助剤・機能材樹脂

泉化成品株式会社
代表取締役 瀧本 廣之 (D32卒)

〒546 大阪市東住吉区東田辺2-15-2
電話 (06) 607-3106代
ファックス (06) 607-8624

荒川 博行 (D46卒)
佐々木康恵 (D平1卒)

●関連会社 タキ テクニカ有限会社

七十周年記念事業への

「協力感謝します」

母校が創立七十周年を迎えるにあたり、大阪白水会としてのご協力を、会員の皆様にご協力いただき、別掲のように多数の方々のご協賛を賜ることができました。

紙上をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

記念式典

十月二十四日十時より、母校講堂に生徒・教職員・保護者・卒業生をはじめ大阪市教育委員会や大正区内の各関係機関の代表、関係企業の代表が参加して、記念式典が挙行されました。

式典後、大阪市消防音楽隊による記念演奏会が行われました。この後、大阪白水会等が主催した七十周年記念祝賀会が、約四百名の参加でぎっしりつまった大正区民ホールで開催されました。

横山幸男、上野勇前大阪白水会長、檜尾俊明会長、大道邦雄東京支部長等への学校長よりの感謝状贈呈の後、立食パーティに移りました。旧職員の参加も多く、会場いっぱいには語らいの渦ができ、母校の七十周年を祝うとともに久闊を叙しておりました。

当日は、岡崎弘男氏(D17・12

検討中でございます。

大阪白水会誌

母校創立七十周年を迎えるにあたり「泉工の歴史の保存と卒業生の活躍の跡を残すための諸事業」としまして、「大阪白水会誌母校創立七十周年記念号」が発行されました。

各界でご活躍されている卒業生40名と旧職員1名の寄稿文と卒業生を中心とした協賛広告(函件)から成っております。

かつては冊子形式の大阪白水会誌が発行されており、その続刊を意図しながら、卒業生各氏の原稿を集めさせていただきます。まだまだ掲載したい寄稿も多いかと思いますが、どのように継続するか研究をいたしております。

白水会教育基金

今回の七十周年記念募金の目的の一つは、白水会教育基金(仮称)の設立でありました。

この基金は「泉尾工業高等学校をより魅力あるものにするために学校独自の教育方針が企画、実行できる基盤を整え、二十一世紀を担う泉尾工高生を援助する」ことを目的としております。

この基金に充当できる金額は、現在のところ別記通りですが、今後さらに充実させる予定であります。

また、基金の管理運営組織および運営方法につきまは、現在

「外面は粗末な着物をきているが、内面は賢徳を抱いている」という意味をもっています。

尚、手ぬぐいは額装することを前提に仕上げておりますので、装丁されて保存下さればと存じます。

私と大阪白水会

本年3月をもって、大阪白水会の常任理事長の役目を高野國博理事(A33)に引継ぐことになりました。

思えば88年に前任者より引継いで以来五年になります。色染工業科の学科改編の話がぼちぼち出はじめ、そしてそれが本格化した時期と重なった為に、どちらの役割も十分にはたせないうまま、今日を迎えたことに内心忸怩たるものがあります。

校舎改築記念碑の建立、会員名簿の発行、七十周年記念事業などに、会長や諸理事の方々そして緑の下の力持ち常任理事の先生方と手をたずさえて取り組んでいけました事を感謝いたしております。しかし、白水会の屋台骨を

確実なものとする為の組織の確立や財政の確保については、緒にすらすらと終ったことを反省しております。

同窓会という組織はいま岐路にあると言われております。大阪白水会も例外ではありません。無関心というのを通りこして、その存在すら頭のない方々も沢山おるのではないのでしょうか。

私は、卒業生一人ひとりが自分の在学した学校に対し、どれだけ思い入れしているかにより、母校や同窓会に対する気持が違ってくるものであると信じております。

もっと端的に言って、在学した学校でどのような教育を受けたのか、また扱われてきたのかということが、卒業後に結果として表われてきていると思います。

その意味からも、私は自分の日頃の教育活動が大阪白水会の発展に直接結びついているとの思いでやっております。

長い間常任理事長として盛り立てていただきましたありがとうございます。(D32六辻丈夫)

●広告協力会社名(H4会報)

- 一〇、〇〇〇円
- (株)大勝水産 (株)益田組
- すし男 (株)浜田
- カツミ産業 エイコー 測器(株)
- 金剛ダイス工業(株) ホクデン工業(株)
- 平岡染料店 間機設工業(株)
- 泉化成品(株) キレスト(株)
- やまがそば (株)シマ精機

六、〇〇〇円	40 本地清司	40 西村長朗	二〇、〇〇〇円	45 西村和正	28 駒田 司	28 水村恒男	37 高橋 昭	45 船岡房代
35 濠川泰三	41 木村幸吉	42 吉田正勝	大13 深谷 章	53 高橋隆夫	28 小森唯二	28 田村 隆	45 賀加世子	56 石井三惠子
五、〇〇〇円	43 高野和行	43 塚本一博	18 宇賀吉昭	62 菊地知弘	28 丸山信次	22 濱崎信彦	二、〇〇〇円	31 北田昌由樹
2 田中十三	3 松田 勉	45 塚本哲三	20 上野吉昭	平3 半田泰都子	29 小谷川 毅	62 濱崎信彦	二、〇〇〇円	34 中根 深
3 森井 新	6 清水 剛	46 垣沼陽輔	23 佐藤久雄	七、〇〇〇円	28 山口 毅	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円	34 中村 隆
8 小林豊太郎	8 河野橋夫	60 國場孝子	32 野尻 浩	平2 水山典雄	29 宮 勲	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
10 淺井松太郎	10 安部 毅	平2 四宮高志	32 野尻 浩	平2 水山典雄	29 宮 勲	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
10 大村 則	10 竹川利夫	三、〇〇〇円	33 山阿久爾	34 堀 弘	29 宮 勲	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
10 中村安一	11 川村 明	三〇、〇〇〇円	40 平タラス会	五、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
11 小巻長雄	12 岡見伊三夫	31 多木宏光	40 三宅 豊	六、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
12 片岡長正	12 勝屋一志男	33 河本 勝	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
12 辻 芳次	12 古武正幸	35 前田正治	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
12 横井善一	14 飯野 敏	40 西田繁雄	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
14 上田猛雄	14 清水尊雄	45 橋本雅信	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
14 谷森弘夫	14 藤原弘純	45 橋本雅信	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
14 龍門 寛	15 後藤三雄	45 橋本雅信	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
15 竹内政次郎	16 岩田義治	61 松田幸治	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
16 北村一郎	16 杉野義直	一〇三、〇〇〇円	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
16 花城清文	16 浜口隆信	一〇三、〇〇〇円	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
17 林 正温	17 赤木三郎	一〇〇、〇〇〇円	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
17 吉野 繁	18 伊勢清秀	一〇〇、〇〇〇円	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
18 大野 賢	18 太田正清	二 梶谷茂人	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
18 北出俊博	18 松井 清	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
20 富田隆夫	20 横山豊太郎	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
20 永尾 弘	20 井戸淑夫	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
20 井原 敏	20 高下健吉	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
20 千葉寿一郎	20 堀田吉昭	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
21 磯野直真	21 面川弘三	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
23 伊藤正知代	23 吉原一夫	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
25 坂口 輝	25 長尾石廣	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
26 大賀秀幸	26 古川 武	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
27 竹中 勇	29 古川 武	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
30 橋本隆司	32 溝口民扶	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
33 石河雅祥	33 木内政雄	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
33 小谷 一	33 浜野博一	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
34 大藤節男	34 岡安喜博	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
34 紀藤善一郎	34 徳田耕一	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
34 西川岩男	35 久保保男治	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
35 中村 勇	36 浅田康宏	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
36 竹中第二	36 東条太郎	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
36 中村正剛	37 河崎喜久夫	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
37 細尾勝彦	37 山崎正三	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
37 益田 治	38 古井義信	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史
39 森永正剛	40 買手長一	大同化学工業(株)	40 三宅 豊	七、〇〇〇円	29 内藤正夫	29 新屋善成	20 水谷清久	35 村木高史

応用化学・工業化学科

機械・化学機械科

日本化学機械製造(株)

大阪鋼匠(株)

見島電機(株)

平2丸谷英樹

(株)日商機械

大阪鋼匠(株)

見島電機(株)

平2丸谷英樹

(株)日商機械

大阪鋼匠(株)

見島電機(株)

平2丸谷英樹

- 42 野上通樹 42 山田登志雄 59 古田和博 63 東 悅雄
- 43 池之内猛 43 山本真資 63 宮岡卓己 平1 吉田尚弘
- 47 渡邊一博 46 松尾一久 平3 住谷憲洋
- 51 清瀬 忍 48 柳川賢次 平3 袖山亮司
- 62 青野充司 59 福本吉秀 平3 竹久良介
- 平1 增田英宏 平4 中川淳雄 平4 中川淳雄
- 平2 岡村洋行 55 今津勝彦 三、〇〇〇円
- 平4 松尾洋史 三、〇〇〇円
- 平4 三警研太郎 46 佐喜真正行 49 池田隆人
- 四、〇〇〇円 一、〇〇〇円
- 57 今津武志 53 早川広志 合同・その他
- 三、〇〇〇円 一七〇、〇〇〇円
- 36 朝倉達夫 36 北口哲男 泉工ゴルフクラブ
- 37 岡 功 41 澄 直治 一〇〇、〇〇〇円
- 49 北方信市郎 51 清瀬 忍 一〇〇、〇〇〇円
- 58 山本孝弘 平2 濱崎純治 シオノギ白水会
- 平4 長嶺靖之 三六、〇〇〇円
- 二、〇〇〇円 日本ペイント白水会
- 48 山田善則 三〇、〇〇〇円
- 一、〇〇〇円 白水会東京支部
- 26 羽田文夫 44 森田泰行 二〇、〇〇〇円
- 43 和田隆喜 水戸三光社印刷所 一〇〇、〇〇〇円
- 電気科 西尾印刷機 一三、〇〇〇円
- 二〇、〇〇〇円 川畑利一
- 41 河端 保 一〇、〇〇〇円
- 41 田中政治 41 米一博夫 五、〇〇〇円
- 42 森本哲行 47 松井芳春 鈴木ミヨ子
- 48 中田美紀雄 50 吉田匡宏 一、〇〇〇円
- 52 久保宏幸 52 上妻敬二 高山佳子
- 56 運天 誠 57 半田幸三 旧職員
- 平2 水下 広 一〇〇、〇〇〇円
- 平3 原晴久 友泉会一同 六〇、〇〇〇円
- 五、〇〇〇円 長野忠雄
- 41 中原英男 41 福永哲哉 五〇、〇〇〇円
- 41 松本敏彦 42 岡本和昭 一瀬吉郎
- 42 長田時行 44 戸田省吾 三〇、〇〇〇円
- 42 吉澤英夫 44 真田達行 高橋正一 藤倉文夫
- 46 福盛洋行 46 山田健治 高橋義平 前田昌男
- 46 藤井 清 47 岡方 茂 二〇、〇〇〇円
- 49 西 明 51 鉢嶺宗一 稲田春政 北川恒夫
- 52 古座鈴一 52 高橋精二 高岡 正 関つる糸
- 52 藤木喜久雄 53 石橋隆弘 水谷仁三 南 敦子
- 53 堤 松弘 53 松中弘幸 一五、〇〇〇円
- 56 田中祥介 58 増田充泰

- 大山 村上正己
- 山崎 二五、〇〇〇円
- 古銭季子 藤原恵子
- 浜口和子 一〇、〇〇〇円
- 綾井 節 家森長治郎
- 氏原良雄 奥川泰司
- 岡大泰 川島敏郎
- 川上研市 川島稔夫
- 古賀 剛 里崎公泰
- 田口盛啓 興 公男
- 注 光興 中平 勝
- 中村寿太 西野光之助
- 能城正治 藤平昇三
- 堀 重勝 増成敬郎
- 松水 一郎 水田 賢
- 矢野賢二 五、〇〇〇円
- 飯室 強 石田幸助
- 伊沢 透 大阪一郎
- 恒内秀雄 北尾妙子
- 北村 翼 小野賢一
- 久保新一 小笹實一
- 齋藤曾五郎 佐藤 剛
- 椎名隆二 高山氏子
- 千賀保和 鈴木明仁
- 舞波行雄 西澤 爽
- 西原義秀 谷口晋策
- 中坪壽海 浜中由則
- 日原大彦 古田嘉雄
- 三羽昭典 八木 昂
- 山本俊明 米田 茂
- 三、〇〇〇円
- 下村素子 二、〇〇〇円
- 上杉良雄 二、〇〇〇円
- 現職員
- 機械科職員一同 五、〇〇〇円
- 安藤隆人 石井正英
- 酒井正久 中森てるよ
- 山田信男 山野 彰
- 三、〇〇〇円
- 伊藤利也

会費・寄附納入一覽

(敬称略)

- 平成四年度
- (平成五年三月現在)
- 紡織・繊維工業科
 - 一〇、〇〇〇円
 - 32 服部奈良次郎
 - 五、〇〇〇円
 - 10 三浦良貴 15 高橋誠一郎
 - 28 小西一正 38 兼木武紀
 - 43 山岡 潤 44 山崎修子
 - 三、〇〇〇円
 - 7 佐野正三 15 大坪吉行
 - 33 上瀬和男 35 田中雄一郎
 - 二、〇〇〇円
 - 8 馬場彰生 9 橋谷太喜二
 - 9 松井宏臣 14 庄司 弘
 - 15 喜多俊雄 32 小林敬一
 - 35 表田 隆
 - 38 久保田勇之助
 - 42 大石繁男 45 町田みね
 - 58 柴島 勲 一、〇〇〇円
 - 4 飯田年春 7 岡本亀吉
 - 7 加藤正義 8 宮内義政
 - 9 山本 昇 9 船曳大造
 - 9 遠藤喜三郎 9 和田太郎
 - 01 由井昌雄 11 一色 敏
 - 11 笹田泰治 12 林 利一
 - 12 森 久須之助
 - 12 山田多市郎
 - 12 山村英夫 13 藤田明雄
 - 13 高橋克己 14 幸田 勝
 - 14 藤田豊彦 15 上田良太郎
 - 14 以西公夫 15 上田良之助
 - 15 大石 博 15 高寺延寿
 - 15 長沢慶一 16 岡田 稔
 - 16 渡部 孝 16 松崎 敏
 - 16 小林立朝和 16 青木一巳
 - 16 富名藤朝和 17 沖 由文
 - 17 宮南 不 17 宮崎善治
 - 14 米崎 望 14 藤井茂夫
 - 15 山中功一
 - 17 村井真一郎 17 毛利 忍
 - 17 寺岸英三 17 武藤實志
 - 18 藤川一市 20 黒田芳昭
 - 20 谷 齊 20 足田龍雄
 - 30 賀 昭三 31 横田 功
 - 35 大坪義明 35 下津 明
 - 35 竜美昭雄 35 平野精二
 - 36 垣内 博 36 増田清隆
 - 36 山本 明 37 岩佐隆二
 - 37 千頭貞夫 37 中村好太郎
 - 38 堀 雄二 38 塩谷忠男
 - 42 中尾義博 44 足田英二
 - 45 瀬戸秀芳 45 中尾博一
 - 45 北國和子 45 榊本康子
 - 45 瀬戸淑子 47 今仲よし子
 - 48 松嶋伸枝 49 橋本正夫
 - 63 内田博之 平2 岩田勝次
 - 平2 中川義己
 - 17 村井真一郎 17 毛利 忍
 - 17 寺岸英三 17 武藤實志
 - 18 藤川一市 20 黒田芳昭
 - 20 谷 齊 20 足田龍雄
 - 30 賀 昭三 31 横田 功
 - 35 大坪義明 35 下津 明
 - 35 竜美昭雄 35 平野精二
 - 36 垣内 博 36 増田清隆
 - 36 山本 明 37 岩佐隆二
 - 37 千頭貞夫 37 中村好太郎
 - 38 堀 雄二 38 塩谷忠男
 - 42 中尾義博 44 足田英二
 - 45 瀬戸秀芳 45 中尾博一
 - 45 北國和子 45 榊本康子
 - 45 瀬戸淑子 47 今仲よし子
 - 48 松嶋伸枝 49 橋本正夫
 - 63 内田博之 平2 岩田勝次
 - 平2 中川義己
 - 27 京極博光 29 岸岡 健
 - 35 野崎和男 36 井上弘保
 - 42 田代文代 42 古川 伸
 - 42 田中順子 47 合志正美
 - 48 山田明美 50 畑山初子
 - 54 仲木浩之 一、〇〇〇円
 - 2 白石 巖 4 濱 建次
 - 5 杉本茂夫 5 村田要人
 - 6 森本兵太郎 7 高橋 澄
 - 7 福本長五郎 9 本映利邦
 - 9 安田青雄 11 森 信也
 - 12 加藤泰雄 13 小椋圭一
 - 13 柴田英治 13 平松秀一
 - 13 長谷川正裕 14 大橋寿男
 - 14 宮内 彰 15 櫻井邦彦
 - 14 西田 肇 19 奥村耕造
 - 16 長谷川一夫 16 濱口研次
 - 16 福嶋節生 16 宮崎精一
 - 16 是水浩作 16 柴谷吉宣
 - 16 水川嘉海 17 平松賢幸
 - 18 山岡 清 20 池田和夫
 - 20 川村精吉 20 柴田和男
 - 20 市川景一 20 片岡勝利
 - 20 鈴木寛治 20 濱木浪雄
 - 20 藤本順三 21 嶋 豊
 - 21 堀 省三 21 松島登美雄
 - 28 梅田忠平 29 金森 博
 - 29 高倉史郎 29 岩佐忠治郎
 - 30 福藤文夫 30 松谷 保
 - 30 遊津勝弘 34 朱矢豊茂
 - 34 永岡正憲 35 吉田 弘
 - 36 因分滋朗 40 岡田政男
 - 40 渡辺 一 42 樋口多代子
 - 42 西原喜代志 43 岩本悦子
 - 42 結野輝幸 44 安積由紀子
 - 44 浦戸高子 45 沖 康江
 - 46 宮原恵子 47 浜田久子
 - 49 沖元英一 49 中村幸恵
 - 49 木口珍子 50 中村幸恵
 - 52 藤沢智恵子 53 邑智信恵
 - 54 松尾剛一 59 黒木君江
 - 3 内田 恵
 - 薬業・セラミック科
 - 一〇、〇〇〇円
 - 3 福 常和 12 山下俊彦
 - 12 横井善一 32 曾根 朗
 - 五、〇〇〇円
 - 3 森井 新
 - 27 竹中 勇 36 西川輝彦
 - 三、〇〇〇円
 - 3 柳井二郎 6 玉川英夫
 - 10 玉井彌一 11 石田富三
 - 14 藤原弘純 20 木曾敏夫
 - 20 佐野武市 33 木内政雄
 - 39 中垣茂樹 40 福森茂記
 - 42 吉田正勝 二、〇〇〇円
 - 8 河野鶴夫 10 浅井松太郎
 - 14 飯野 敏 14 谷森弘秀
 - 16 浜口隆信 16 前川善昭
 - 16 森本 博 17 赤木三郎
 - 18 大谷正男 20 木村重次郎
 - 33 飯野信夫 33 河本 勝
 - 39 藤本喜久男 40 西田繁雄
 - 一、〇〇〇円
 - 2 田中十三 3 佐坂光春
 - 3 木谷龜雄 6 松田一之
 - 6 松井健三 6 清水 剛
 - 10 安部 毅 10 竹川利夫
 - 10 谷本三郎 14 川村 明
 - 12 岡見伊三夫 14 上田猛雄
 - 14 清水幹雄 15 竹内敬次郎
 - 16 家村 敏 16 北村 一郎
 - 16 佐藤菊松 16 近藤 鎮
 - 17 大田利勝 17 奥田清治
 - 17 高下喜久藏 17 田中 健
 - 18 伊勢清秀 18 大前 博
 - 18 北出俊郎 18 松井 清
 - 20 巽 伊作 20 千葉芳一郎
 - 20 横山豊太郎 20 岡田 茂
 - 20 楠田博之 21 藤野直良
 - 21 而川弘三 25 池田富士夫
 - 25 長尾石武 26 古川明二
 - 26 中山 武 29 古川明二
 - 30 榊本隆治 31 多木宏光
 - 32 溝口民扶 34 橋高 清
 - 34 妹尾 修 34 紀藤善一郎
 - 35 今井 寿 35 久保井勇治
 - 35 滝川泰三 35 前田正治
 - 36 井上憲一 36 車条太郎

- 37 福田利明 37 益田治一
- 37 山崎正三 40 木地清司
- 40 西村良朗 43 塚本一博
- 45 橋本雅信 46 垣沼陽輔
- 52 濱地俊博 61 諸見里政雄
- 61 松田幸治 平1 奥田 仁
- 平4 松田 勉
- 一〇、〇〇〇円
- 7 山下成雄 27 藤元林盛
- 29 平島幸一 30 中谷貞二
- 五、〇〇〇円
- 17 横山幸男 18 稲井雅由
- 20 藤本光成 24 川下 勇
- 26 河田 保 26 田中清二郎
- 28 山岸 敏 36 一階栄一
- 39 原 義幸 40 水井吉夫
- 平4 福家正之
- 三、〇〇〇円
- 8 川野太郎 12 喜多伸次
- 16 岡田 弘 16 合田富美雄
- 20 藤原三三 37 宇都宮正則
- 46 白崎金次郎 54 富松克次
- 二、〇〇〇円
- 大14 安田慎次郎
- 9 南 彰 10 八木吉太郎
- 16 大森春樹 17 荒木桂一
- 18 高津安雄 10 橋本 貴
- 20 走口守男 20 河本照男
- 22 大砂吉登 29 野村 爽
- 29 守屋幸夫 32 和崎八寿藏
- 35 寺田義彰 37 高橋 昭
- 41 唐津麻修 42 北村博美
- 42 山本清和 43 佐々木和則
- 45 吉村英志
- 一、〇〇〇円
- 大13 菊川康雄 3 立岡貞雄
- 6 松崎修三 7 家次房夫
- 8 神林敏五郎 8 戸川政美
- 9 高木貞次 9 中川敬三
- 10 有田正雄 10 久留島重治
- 10 齊藤一博 10 丸山五郎
- 11 長井淳治 11 瀧川栄一郎
- 12 山本 浩 13 木原隆男
- 13 松山雅隆 14 在本作哉
- 14 桑野朝蔵 14 有田淳一郎

70周年記念事業
平成5年6月30日現在
大阪白水会

中間報告

収入の部

費 目	金 額
助 募 金	11,734,000
費 助 廣 告 料	6,210,000
雜 収 入	123,204
計	18,067,204

支出の部

費 目	金 額
記念事業 A会計	6,000,000
記念事業 B会計	2,731,491
記念 白水会誌費	2,058,647
事 務 費	938,863
通 信 費	730,099
会 議 費	204,927
雜 入 費	75,550
補 助 金	316,262
教 育 基 金	5,011,365
計	18,067,204

差引額 0

- 14 山田武二 15 熊西清信
- 15 林田 滋 15 東野三郎
- 40 河村賢二 43 大沢 準
- 16 林 幸一郎 16 新田 豊
- 17 坂田 肇 17 永田三郎
- 18 中野 勉 18 山口謙一
- 18 岡本真高 18 谷坂三平
- 18 出 豊 20 水谷清久
- 20 西田 孝 20 村尾三照
- 20 白井 豊 21 和美泰治
- 20 近藤 栄 21 和多田 清
- 22 湯原照雄 24 近藤泰男
- 24 中島 勳 24 小坂慶徳
- 24 高松良数 24 小島 弘
- 25 橋本 稔 25 美濃幸雄
- 25 花原 治 25 平尾勝美
- 25 花岡 博 25 山中孝好
- 25 河野隆行 26 池内孝幸
- 26 戴本長雄 28 田村 隆
- 28 藤本貞二郎 29 三宮 勲
- 29 新島友行 29 内藤正浩
- 29 野里善成 29 石井良浩
- 29 野村 実 31 井上克己
- 31 徳井 珍 32 玉西義光
- 32 渡邊嘉郎 32 山岸重信
- 32 辻 欣男 34 上杉 平
- 34 中崎紀夫 35 上田浩徳
- 35 多川 碩一 35 大杉 博
- 35 金澤 慎 36 土山 進
- 36 林 功 36 山本英夫
- 39 小森秀基 40 池田隆司
- 20 三原輝正 20 千野俊三
- 20 時津哲彌 20 城光漫幸
- 24 諸山 登 20 真砂良一
- 20 伊藤信一郎 40 須田 稔
- 40 滝川誠一 40 西尾憲一
- 40 河村賢二 43 大沢 準
- 43 太田匡俊 43 横川 治
- 44 倉澤光男 45 船岡房代
- 45 山本和子 45 豊島良次
- 51 阪口 園 63 岩田幸二郎
- 平1 馬屋原淳一
- 平2 辻村真吾
- 平5、〇〇〇円
- 31 中川政美 35 黒澤三八一
- 40 安井博司 42 齊ノ内 精
- 平4 松尾洋史
- 三、〇〇〇円
- 21 一井隆紀 24 藤本正治
- 26 岡部浩也 32 平井 勲
- 34 広田 實 37 前川金四郎
- 43 山本真實
- 二、〇〇〇円
- 18 井 清 29 馬屋原二郎
- 32 藤原乙太郎 34 西尾壽一
- 64 西山瑞彦 35 山口俊夫
- 37 寅水正和 38 高橋恒晴
- 48 山田善郎 56 豊田 勉
- 一、〇〇〇円
- 18 大矢義孝 18 竹原幸生
- 20 萩原重夫 20 正月義春
- 20 千野俊三 20 城光漫幸
- 20 時津哲彌 20 真砂良一
- 24 諸山 登
- 25 樽 敏明 25 富永栄一
- 26 下境 弘 26 柳澤日出男
- 30 藤野山一 31 高田和明
- 32 新井俊一 32 村松泰男
- 33 加藤 博 33 個 豆
- 34 井上信雄 34 蔭山 宏
- 34 北村貞夫 34 福田隆幸
- 34 今津喜三郎 34 片山幸夫
- 34 北田昌由樹 34 瀬戸良明
- 34 中根 深 34 中村 隆
- 34 野村健次 34 羽河正晴
- 34 清海幸雄 34 森田結一
- 35 玉崎 一 39 岡本 勲
- 35 加藤憲幸 35 經野清司
- 36 北口哲男 36 野路末好
- 36 吉福照夫 37 石川博信
- 37 岡 功 38 島中雅英
- 39 岡本欣三 39 落合正明
- 39 吉田庄造 40 横田 豊
- 41 三宅孝史 41 尾形秋吉
- 41 野田清吉 42 野上通樹
- 43 池之内盛 45 澤 昭二
- 46 香山 登 46 松尾一郎
- 47 森田俊彦 48 柳川賢次
- 51 清瀬 充 57 今津武志
- 61 赤木 元 61 川木修蔵
- 61 土橋勇人 61 圓山 猛
- 平4 三裕研太郎
- 平2 濱崎純治
- 一、〇〇〇円
- 51 鉢嶺宗一 51 〇〇〇円
- 47 森 典嗣 47 〇〇〇円
- 63 東 悦雄 63 〇〇〇円
- 56 運天 誠 56 〇〇〇円
- 41 田中敬治 41 山口 實
- 47 大倉敏和 49 池田隆人
- 一、〇〇〇円
- 42 戸田省吾 42 森本哲行
- 44 松浦 幹 44 武内 勇
- 46 山田健治 48 中田美記雄
- 49 辻 一高 52 久保幸幸
- 55 今津勝彦 56 田中雅史
- 56 山根浩之 57 稲山耕史
- 61 岸本和浩 62 岸本克己
- 平4 中川淳雄
- 旧職員
- 六、〇〇〇円
- 水谷 仁三
- 五、〇〇〇円
- 村上 正巳
- 二、〇〇〇円
- 土徳 良雄
- 一、〇〇〇円
- 恒内 秀雄
- 神山 達生
- 米田 茂

◆ 総会のご案内 ◆

皆さんお元気ですか。
今年も大成閣で総会を行います。
久しぶりの顔合わせです。
ここを足場にクラス会を開いて
は如何ですか。

● 日時 10月8日(金)PM6時半
受付PM6時より

● 会場 大成閣

TEL(06)271-5123(八)
(大阪府中央区東心斎橋1丁目8番12号)
(心斎橋大丸さくらの開業(約10米))

地下鉄・心斎橋駅

会費 六、〇〇〇円

ただし、平成四・五年の卒業生は二、〇〇〇円
議事の時間を短縮しますので会報の決算、予
算等をお目通しおき願います。